

経済建設常任委員会報告

平成23年度阿蘇市一般会計予算について

建設課の所管分

問 土木総務費の阿蘇市住宅・建築物耐震診断事業補助金（86万円）はどういうものか。

答 一昨年に建築物耐震補修の促進計画を交付金事業で作成しました。阿蘇市に木造住宅が9千戸程ありますが、昭和56年6月に建築基準法の改正が行われ、それ以前に建てられた住宅が6千戸程あります。今回、この補助金を利用して耐震診断を受けていただくために、10戸分程度の予算を計上したものです。

問 小倉地区の火災の際、消防自動車が小倉の前の橋を通ろうとした時、橋梁工事の関係で通行止めになっていた。今後は周知の徹底をしていただきたい。

答 地元の方には通行止めのお話をしておりましたが、今後は防災無線等で周知を徹底したいと思います。

問 古い公営住宅は継ぎ足しをしたり、観葉植物を植えたりしており、個人で勝手に扱われている部分が多分にある。中には、新しい住宅ができて、観葉植物が生きがいだから移りたくないという話も聞いた。入居者と行政の関係がなし崩しになってはいけない。的確な指導をして、ルールを守っていただく日頃の指導が必要と思うが。

答 入居者の勝手を許してはいけないと思います。周りの方に迷惑をかけているようであれば退去やむなしということで、対応してまいります。

答 保証人に対する対応ですが、数か月、一定の期間が過ぎたならば連帯保証人に連絡することと徹底していこうと思っています。

問 旧小里住宅は、全部解体し更地にしてしまふのか。

答 2階建ての住宅は残す方向であります。それ以外は解体します。

農業委員会の所管分

問 遊休農地活用促進活動は農業委員でやらなければならぬ仕事であるが、指導等により改善はされているのか。

答 耕作放棄地については、21年度は耕作放棄地と無断転用をパトリールして、把握したのが13.4haです。その内、13haが解消されています。

商工観光課の所管分

問 観光振興対策費の地域振興型イベント補助金1500万円について説明を求める。

答 火の山祭りに680万円、一の宮関係の祭りに290万円、波野関係の祭りに131万円、神楽フェスティバルに240万円、中江岩戸神楽の定期公演に63万円等を支出するようにしています。

問 以前、一の宮の夏祭りは火の山祭りと一緒にするという説明がなされたので、花火大会だけでも行ってもらいたいと要望していたが、何もしない考えなのか。

答 最終的には実行委員会で判断していただくことになると思います。

問 観光振興費の新たな食開発実行委員会補助金150万円の説明を求める。

答 阿蘇地域が他の地域に比べ、地域食材を活用した食の開発が進んでいないということから、新しい食開発によって地域振興や観光振興を図ろうとするものです。



古くなった市営住宅

農政課の所管分

問

農地費の熊本県農地・水・環境保全協議会補助金9千万円、これは4分の1の補助金が市に來ているけれど、実際は熊本県の保全協議会でお金を集約して、それから土地改良区に助成することになるのか。

答

国が2分の1、県が4分の1、市が4分の1ということ、4分の1の9千万円を県の本部に支払います。そして、活動組織に対して、県の方から直接交付されます。

問

農地費の県営経営体育成基盤整備事業の4工区分1千5百万円は、市が10%負担で、総事業費が1億5千万円ということだが、本年度はどれくらいできるのか。

答

全体計画が23年度から27年度までの5年間で、水路改修については全体計画2万1,405m、その内、本年については5千3百mを行います。暗渠排水については全体計画207・3haの内、本年については20ha分を予定しています。

平成23年度阿蘇市 阿蘇山観光事業特別 会計予算について

問

スキー場原野補償料を毎年310万円計上しているが、跡地を野外イベント場にした時は、補償の値下げを黒川牧野と相談しているのか。また、スキー場跡地について、以前は防災関係のヘリコプター離着場等に使うとの説明であったが、野外イベントとの関連について説明を求める。

答

スキー場跡地については、駐車場も広く、水利もあるので、防災拠点として考えています。イベントの利用については、これまでと同じ面積を借り、引き続き利用したいと考えています。

平成23年度阿蘇市 下水道事業特別会計 予算について

問

維持管理費予算において、下水処理施設等包括的民間委託業務が6,160万円組まれているが、この委託先はどこか。

答

23年度末までは管理センターに委託しますが、24年度からは新たに入札することになります。

問

この業務内容はどのようなものか。

答

浄化センター施設の管理を専門業者に性能発注するものであり、専門的な知識・技術力を持つ管理センターに委託し、常時7人ほどが業務にあたっています。

問

下水道の汚泥はどのように処理されているのか。

答

汚泥は水が混ざっているので85%ほどを脱水し、その後はJA堆肥センターと竹田の方に持って行っております。どちらか一方が処理できなくなった場合を想定して、必ず2ヶ所でもって対応しています。

問

浄化センター改築工事費2億3千万円はどのような工事内容なのか。

答

浄化センターが30年経っており、機械や壁が劣化しているため、再構築するものであり、平成20年度から26年度まで14億1,420万円の事業を、債務負担行為を起こして改築・増築事業を行うものです。



阿蘇浄化センター

